



HOPETOKO

創世記-23
ヤコブの家畜倍増計画
創世記 30 章 25～43 節
新改訳 2017
ホープチャペル所沢

イントロダクション

ヤコブの 11 番目の子ヨセフが生まれた頃、やっと伯父ラバンとの約束の 14 年が過ぎた。ヤコブはラバンに故郷に帰らせて欲しいと願うが、ラバンはそれを渋る。ヤコブにはこの時はまだ自分の財産がなかったため、さらにラバンのもとで群れを飼いながら自分の群れを増やしていく。そのユニークな方法を見ていこう。

1) ラバンの困惑

- ・偶像礼拝者、ラバン（創 30：5, 27）
- ・神様とイスラエルの関係は夫婦関係（出エジプト 20：3～6）
- ・ラバンの申し出とヤコブの対応（創 30：28～31）

2) ヤコブの家畜倍増計画

- ・ぶちと斑（まだら）毛の羊と山羊（創 30：32～36）
- ・ヤコブの計画（創 30：37～42）
- ・聖書の言葉遊び

3 背後にある神の手

- ・ヤコブは後で知るようになる（創 31：11～12）
- ・神は見ておられる（2 歴代誌 16：9a）

まとめ

ヤコブは実にユニークな方法で自分の群れを増やしていった。ヤコブはそれを自分の知恵と言い伝えによる方法のおかげだと思っていたが、実はそうではなかった。全ての成功の背後には神の守りがある。成功だけでなく失敗でさえも、神の許しなしには起こらない。ラバンは生ける本当の神によってその悪行が裁かれ、彼の財産はヤコブへと移された。この生ける神のお働きを覚え、その偉大な御手の中で憩う者になりたい。



今週のみことば
創世記 30 章 25～43 節

20240721hctj